



2015 年環境展

今年も例年通りこの時期がやってきましたので、こちらを見学しに東京ビッグサイトまで行ってきました。昨年同様、東ホールを使つての展示会です。やはりリーマンショック以降通路は広めです。すれ違う人と肩がぶつかることもありません。今年は天気にも恵まれたことから来場者数は多かったと聞いております。当社とかかわりのある機械メーカー様や、先日導入しました蛍光 X 線分析器メーカー様のブースにも御挨拶させていただき、あれやこれや話をしてきました。

さて、展示の内容で昨年も書きましたが特段大きな法律改正や新しい規制が入ったこともないので、目を引くような展示はありませんでした。道具となるものではいくつかチェックしてきましたので後日にでも検討してみたいと思います。多いなど感じたのが排水処理の浄化システムでした。有機系、無機系など各種さまざまな浄化方法が出ておりました。

高精度ハンドヘルドエックス線式金属材料判別器

三洋貿易(株)が輸入販売するイギリスのオックスフォード・インストゥルメンツ社製の X-MET8000 を導入しました。近年、各種様々な金属を取り扱うようになり、今までの分析器では対応できなくなった為、導入に踏み切りました。いいです、今までのと比べ時代の進歩を感じます。1バッテリーで6時間連続作動、表示部の操作がタッチパネル(スマホのような操作性)でわかり易く、データベースも

豊富な上に追加可能。サンプルさえあればデータベースに追加登録、即表示が OK になります。小さい物に対してはカメラを内蔵しており、その画像を見ながら対象物にセンサーを当てる事が出来ます。これからの金属分析に大いに活躍いたします。

当社オリジナルライター処理機完成！

ここ数年で経験を積み上げてきたライター無害化処理技術を組み込み完成させました。一口にライターと言っても、使い捨てから着火マン系、キャラクター系、高級品系など多種にわたります。硬いのから柔らかいの、ねばっこのなど本当に苦労させられました。その甲斐あって今回の処理機が完成したわけです。ほぼ種類を問わず処理することが可能となり、効率が良くなりました。これにより本来のスプレー缶処理機はその本来の姿に戻り、ライター処理機との2機体制で委託頂いております自治体様からのスプレー缶・ライターを更にスピーディーに安心安全確実に処理いたします。また、ただ元に戻すのでは芸がありませんので、こちらも当社独自のアイデアを効率 UP の為、若干ですが入れてみました。こうなると完成したライター処理機も更にあそこをこうすればとかああしたらとかアイデアが尽きません。

アルミ缶市況

アルミ缶市況が急落しております。これはもう例年通り夏場はアルミ缶(アルコール類)が大量に出回る季節ですから下げ模様となります。アルミ缶は新品のアルミとアルミ缶スクラップから作られますが、この使用割合はその時その時で違ってきます。特に新品(輸入品)アルミが安い時はこちらの割合が増えます。今がまさにその時になっており、需要と供給のバランスが崩れているのでどうしても荷余り状態になってきます。そうすると価格は下降線をたどります。反転は冬・・・かもしれません。